

JR烏山線の鉄道唱歌を活用した地域活性化に向けた取り組み  
 ～『烏寶線鉄道唱歌』発掘から『現代版鉄道唱歌』作製までを踏まえて～

発掘資料『烏寶線鉄道唱歌』の解明①  
 ～全文解明に向けた取り組み～

鉄道唱歌とは、1900（明治33）年に国文学者大和田建樹（おおわたたけき）が作詞し、大阪・三木書店の経営者三木佐助が『地理教育鉄道唱歌第一集』として発行したものがその始まりである。歌詞の中に沿線地域の地理や歴史さらに民話・伝説・名産品などの紹介が盛り込まれ、子供から大人まで大いに人気を博し、その後、鉄道路線の延伸・拡張に伴い各地の路線の鉄道唱歌が作られた。本研究の『烏寶線鉄道唱歌』もこのようにして制作された鉄道唱歌の一つである。市内の知人から入手した5枚のコピーに手書きで記された唱歌の解読・復元を行い、その実態把握として現地調査・文献調査および市文化財関係者や古者等へのヒアリングを実施した。特に、現地調査は、足利工業大学と栃木県立烏山高等学校との共同研究として実施し、JR烏山線全線を踏破した。唱歌に詠まれた59の固有名詞を基に33の地域資源を抽出しその内容を5分類したところ、『自然および自然的景観』13件39.4%、『歴史および歴史的景観』12件36.4%等、この2つの地域資源の合計が全体の約76%であった。調査成果を踏まえ、不明部分の特定を進めた結果、全20番までの歌詞を特定することができた。

■研究の背景と目的■

1. 研究の背景

現在、わが国では、地方都市の衰退が大きな課題！  
 その衰退に歯止めをかけるための手法・方法論を模索しながら、各地で種々多様な取り組みを展開

大きな資金投入に依存しない！

《地方中小都市》

《鉄道の活用》

人口流出に伴う財政基盤の脆弱さが著しい  
 地域資源を活用した地域交流の拡大による観光まちづくりが定着

恒常的な鉄道ファンの存在を踏まえて  
 地域振興に向けた取り組みとして注目に値する！

2. 研究の目的

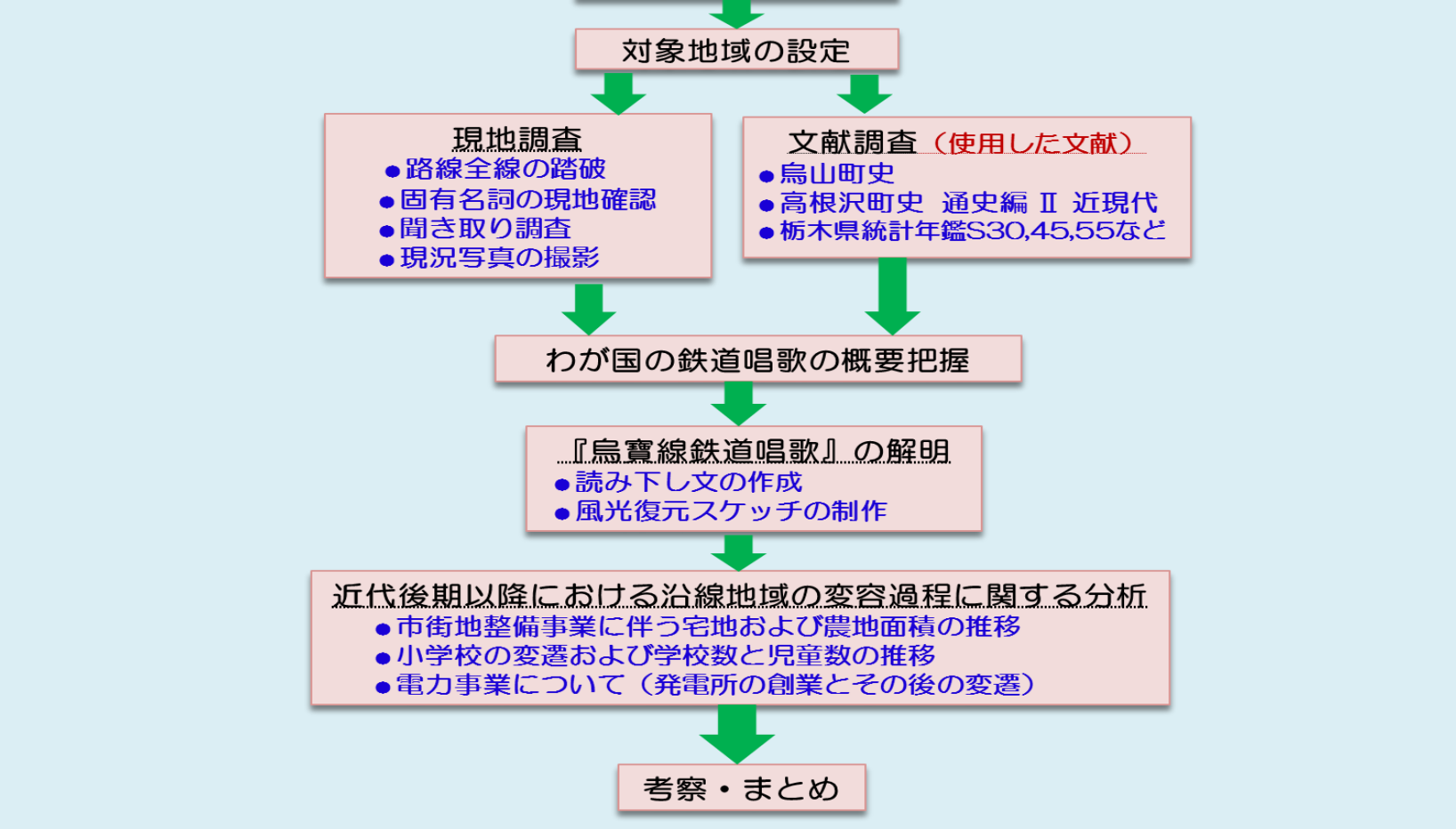
『地域資源』・『鉄道』をキーワードとして  
 地方都市の地域活性化に向けた手法検討

本稿では

検討のための基礎資料を作成する

- ①発掘資料『烏寶線鉄道唱歌』の解明と同唱歌が制作されたとされる昭和5年当時の地域様態の復元  
 当時における地域資源の把握
- ②近代後期から現在までのJR烏山線沿線地域の変容過程の分析を通して  
 当該地域の浮沈様態の把握

3. 研究の構成



■わが国の鉄道唱歌と烏寶線鉄道唱歌■

1. 烏山線の開通と烏寶線鉄道唱歌

(1) 烏山線の開通

■1923(大正12)年5月1日開業。  
 ■日本鉄道の宝積寺駅から分岐し、烏山駅まで全長20.4km。開業当初は、熱田・大金を加えた4駅のみ。  
 ■1934(昭和9)年に下野花園・鴻野山・小溝、1954(昭和29)年に滝駅が開設され、現在の運用に。

1. わが国の鉄道唱歌の概要把握

■『鉄道唱歌』は、1900(明治33)年、大和田建樹(国文学者)が作詞し、三木佐助(書店経営者)が発行。  
 ■『地理教育鉄道唱歌第一集-東海道編』がその嚆矢。  
 ■同シリーズが第五集まで発行された。  
 ■歌詞の中に、沿線地域の地理や歴史、民話や伝説、名産品の紹介などが盛り込まれ、子供から大人まで大いに人気を博したとされる。  
 ■この人気を背景に、鉄道路線の延伸・拡張に伴い、各地の路線の鉄道唱歌が作られた。

2. 烏山線の開通と烏寶線鉄道唱歌

(2) 『烏寶線鉄道唱歌』について

■この原本は、那須烏山市の知人から入手した5枚のコピーである。  
 ■本研究に際し、『烏寶線鉄道唱歌』の認知度をはじめその実態について調査しているが、現在のところ詳細は不明。  
 ■詠まれた歌詞の解明により、当時の地域固有の地域資源や地域の景観など、地域の魅力情報の認識把握に結びつくと考えています。

■唱歌解明に向けた調査■

3. 現地調査

(1) 調査の内容

- 調査日 2014年8月20日～22日の3日間
- 調査員 足利工業大学: 布施和也・高橋亮太・岡本竜馬/福島二郎(教員) 烏山高等学校: 池田尚樹・佐藤拓真・鈴木雄太/藤井啓太(教員)
- 調査項目
  - 所在地
  - 区分(①地名②風景③景観④計勝地⑤人物⑥建造物⑦その他)
  - 分類A(区分①)②: 参考文献・資料名
  - 分類B(区分①)②: 歴史上/近現代
  - 分類C(区分①)②: 宗教/教育/産業/交通/通信/土木/その他
  - 建造年
  - 用途
  - 構造形式(木造/RC/鉄骨造/煉瓦造/石造/その他)
  - 諸元(長さ/幅)
  - 改築・改修履歴
  - 文化財指定等
  - 管理者
  - 設計者
  - 車窓から(見える/見えない)
  - 調査者所見・特記事項
  - 写真(古写真/現在)



3. 現地調査

(3) 『烏寶線鉄道唱歌』に詠まれた固有名詞

番号	固有名詞	意味	固有名詞	意味	
1	宝積寺	地名(宝積寺の山)	33	高瀬	地名(高瀬の川)
2	三木	地名(三木の山)	34	三木	地名(三木の山)
3	三木の山	地名(三木の山)	35	三木の山	地名(三木の山)
4	三木の山	地名(三木の山)	36	三木の山	地名(三木の山)
5	三木の山	地名(三木の山)	37	三木の山	地名(三木の山)
6	三木の山	地名(三木の山)	38	三木の山	地名(三木の山)
7	三木の山	地名(三木の山)	39	三木の山	地名(三木の山)
8	三木の山	地名(三木の山)	40	三木の山	地名(三木の山)
9	三木の山	地名(三木の山)	41	三木の山	地名(三木の山)
10	三木の山	地名(三木の山)	42	三木の山	地名(三木の山)
11	三木の山	地名(三木の山)	43	三木の山	地名(三木の山)
12	三木の山	地名(三木の山)	44	三木の山	地名(三木の山)
13	三木の山	地名(三木の山)	45	三木の山	地名(三木の山)
14	三木の山	地名(三木の山)	46	三木の山	地名(三木の山)
15	三木の山	地名(三木の山)	47	三木の山	地名(三木の山)
16	三木の山	地名(三木の山)	48	三木の山	地名(三木の山)
17	三木の山	地名(三木の山)	49	三木の山	地名(三木の山)
18	三木の山	地名(三木の山)	50	三木の山	地名(三木の山)
19	三木の山	地名(三木の山)	51	三木の山	地名(三木の山)
20	三木の山	地名(三木の山)	52	三木の山	地名(三木の山)
21	三木の山	地名(三木の山)	53	三木の山	地名(三木の山)
22	三木の山	地名(三木の山)	54	三木の山	地名(三木の山)
23	三木の山	地名(三木の山)	55	三木の山	地名(三木の山)
24	三木の山	地名(三木の山)	56	三木の山	地名(三木の山)
25	三木の山	地名(三木の山)	57	三木の山	地名(三木の山)
26	三木の山	地名(三木の山)	58	三木の山	地名(三木の山)
27	三木の山	地名(三木の山)	59	三木の山	地名(三木の山)

59の固有名詞を抽出！

3. 現地調査

(3) 調査の方法と記録

59の固有名詞毎に調査シートを作成

現地を歩きながら現状確認するとともに、地元住民・役所・教育委員会等への聞き取り調査を行い、情報収集を行った。

現地踏査を行い  
 地域資源を抽出！

■解明した『烏寶線鉄道唱歌』の歌詞全文■

作者：及川誠二(昭和5年集録)

1	ゆくてはいづこ寶積寺 希望を地史の上にして 春の一日ののどけさを 求めし今日のうれしさよ	2	窓にもたれて朝風を 愛づる折りしも一聲の 汽笛と共に吾が汽車は 烏山をば出でにけり
3	愛宕の山の峯つゞき めぐると見れば虻塚の 宿もいつしかあとに見て 峠を走る心地よさ	4	麦の緑のそが中に 黄金敷く花ありて 言はづとかたる春の香に 思はず胸の踊るなり
5	瀑音高く緑陰に 響くはこれぞ名にし負ふ 瀧の名所と相俟ちて 観音堂のあるところ	6	石のきざはし呑むして 慈覚大師開山の 堂宇をめぐる老杉は 雲を掃ふにさもにたり
7	汽笛一聲トンネルに 我等が汽車は入りけり 此處難工の一とこ 延長實に三町餘	8	森田にきこえし発電所 小溝をすぎて荒川の 流れにわたす鐵橋に かゝれば昔のかまびすし
9	かなたに見ゆる山脈の ふもとにひける一筆の 斜めに染めしうすかすみ 高瀬の景の得がたしや	10	いつしか大里あとにして 鎮守ふりむくひまもなく 大金驛につきにけり 驛夫のこゑもほがらかに
11	化石に名ある小河原や 人に知られし十二口 大和久小倉ほど近く 汽車は驛をばいでにけり	12	田の倉村や安楽寺 窓下に青き荒川を 再び右にながめつゝ すぐれば変る峯の松
13	繪にさながらの枝ぶりを 寤目機に入るゝ者のあり 墨客何ぞ意ながらん 詩人はすてじこしの峯	14	福岡すぎて鴻の山 長者平は遠けれと 今猶残る馬屋窪 八幡太郎に知られけり
15	窓より近き法康寺 一向宗にぞしられぬる 臺新田の三箇寺は 日蓮宗の古伽藍	16	太田神社を右に見て 左に仰ぐ星の宮 文挾校の庭先を すぐれば早やも熱田驛
17	汽車は煙を吐きたてゝ 今ぞ熱田をいでゝ行く 高根沢また花岡は 野州米てふ名も高し	18	廣袤幾里灌漑の 水路蜘蛛手に分れつゝ さすがは廣き水田に 耕すものはこゝかしこ
19	花岡校や地蔵寺を すぎて石末寶積寺 猪湖送電の架空線 鐵槽ならべる一奇觀	20	まもなく来る寶積寺 東北線と交りて 昇降客の多ければ プラットホームは織る如し

3. 現地調査

(4) 地域資源の抽出と駅からの直線距離

番号	曲名	詠まれた名所	直線距離	最寄駅
1	3	磐石の山	0.675	烏山
2	3	三木		
3	4	三木の山		
4	4	黄金敷く花		
5	5	瀧の名所	0.4	
6	6	観音堂	0.275	
7	6	高瀬の山	0.275	
8	6	三木の山	0.275	
9	10	高瀬の山	0.525	
10	10	高瀬の山	0.525	
11	10	高瀬の山	1.075	
12	10	高瀬の山	0.2	小溝
13	10	高瀬の山	42.09	
14	10	高瀬の山	52.89	
15	10	高瀬の山	0.473	
16	10	高瀬の山	1.075	
17	10	高瀬の山	1.525	
18	10	高瀬の山	0.275	
19	10	高瀬の山	4.075	
20	10	高瀬の山	4.075	
21	10	高瀬の山	2.4	鴻野山
22	10	高瀬の山	2.625	
23	10	高瀬の山	0.4	
24	15	三木の山	2.325	
25	15	三木の山	2.625	
26	15	三木の山	3.6	仁井田
27	15	三木の山	0.2	下野花園
28	15	三木の山	0.6	
29	15	三木の山	0.4	仁井田
30	15	三木の山	0.02	
31	15	三木の山	0.275	
32	15	三木の山	0.2	
33	15	三木の山	1.4	下野花園
34	15	三木の山		

59の固有名詞から  
 33の地域資源を抽出！  
 地域資源を5分野に区分

- ①自然・自然景観.....13(39.4%)
- ②歴史・歴史的景観.....12(36.4%)
- ③建造物(教育).....3(9.1%)
- ④建造物(産業).....1(3%)
- ⑤建造物(交通・通信・土木).....4(12.1%)

①自然・自然景観 ②歴史・歴史的景観  
 全体の約76%!